

私邸としての“構え”を極める。

ただいま、と扉を開けるほんの少し前に、
ああ、わが家に帰ってきたな…と安堵の気持ちに包まれる。
共用廊下と玄関をつなぐ「玄関アルコーブ」は、
たった数歩の小さな空間ですが、
ONからOFFへの自然な切り替えや
風格のある邸宅感の演出など、
さまざま可能性を秘めています。
屋内廊下のホテルライクなマンションが増えるなか、
存在感を高めつつある「玄関アルコーブ」。
そこに込められた想いや知られざる工夫について、
三人の若きプロフェッショナルが熱く語ります。

名古屋駅にほど近いグランドメゾン。メタリック調の仕上げとスタイリッシュなディテールのデザインが、都心にふさわしい“わが家の顔”を演出します。
(GM名駅三丁目/愛知県)



- ▲ 重厚感のあるしつらえと間接照明が描く美しい陰影が、邸宅の風格を漂わせます。
(GM The 覚王山ヒルズ / 愛知県) ※完成予想CG
- ▶ 正統派レジデンスの佇まいにふさわしい、ウォールナット調の木目と石のしつらえ。
(GM The 覚王山向陽町 / 愛知県) ※完成予想CG
- ◆ 額縁のような存在感のある三方枠を手前に設け、奥行き感のある空間を実現しています。
(GM 夕陽丘タワー / 大阪府)



玄関アルコーブは わが家らしさを伝える場

今回のテーマ「玄関アルコーブ」について、ピンとこないという方も多いかもかもしれません。どこを指すのか、主にどのような役割があるのかを教えてくださいませんか。

「居室や廊下などの壁に作った窪みのことを建築用語でアルコーブといいます。玄関アルコーブは、共用廊下から少し奥まったところに設けられた玄関扉前のスペースを指しています」(松井)

「玄関アルコーブがあれば、扉を開けた時に廊下を歩いている人とぶつかるような事態を避けることができます。また、そうした安全面だけでなく、家族を安心して送り出し温かく迎える大切な空間であり、ゲストにとってはお住まいを訪れるワクワク感を味わえる空間、と私は捉えています」(加藤)

「マンションの場合、メインエントランスや共用

屋内廊下をきつかけに 注目度がアップ

主にどのようなことに配慮して設計されているのでしょうか。

「玄関アルコーブは共用部という位置付けなのですが、ここもわが家の領域だと感じたいだけ、利用価値のある空間にしたいと思っています。すると、やはりそれなりの広さが必要になってくるのですが、さまざまな条件面からどうしてもスペースの確保が難しいケースもあります」(松井)

「そんな時は、壁や床など面のしつらえを工夫することで、できるだけ空間にゆとりを感じていただけるようにしています」(加藤)

屋内廊下のマンションが増える中、 魅力的な玄関アルコーブによって 一歩先のご提案ができています。と感じます。

(是澤)



「また、共用廊下を挟んで住戸が向かい合っている場合は、玄関扉を開けた時お互いに部屋の中が見えにならないよう扉の向きに配慮するなど、プライバシーの確保に努めています」(松井)

「一方で、エレベーターを降りた時に、部屋番号のサインが目に入りやすい設計も心がけています。そのあたりの公私のバランスをどう取るかは、難しい部分でもあります」(加藤)

「私たちはそんなふういろいろな視点で玄関アルコーブのあり方を考えて、それがGMの

魅力付けになれば、と思っっているのですが、お客様の反応はどうですか」(松井)

「注目度は年々高くなっていると思います。最近GMで主流になっている屋内廊下タイプのマンションへの関心があつて、その延長線上に玄関アルコーブへの関心がある、というのが販売担当としての実感です。建物のメインエントランスから住戸までが完全屋内で、床をカーペット敷きで仕上げるなど、上質感のあるホテルライクな空間づくりは、お客様にとっても喜んでいただいています。ただ、それはGM



に限ったことではなく、マンション全般に増えている仕様なので、そこに魅力的な玄関アルコーブが加わることで、一歩先のご提案になっていると思います。実際に、数多くのモデルルームを巡らされているお客様から、GMは本当に「いい顔」をしているね、とお褒めの言葉をいただいたこともあつて、自慢の玄関アルコーブです」(笑)「是澤」

それは嬉しいですね。屋内廊下タイプであることがプラスに働いている、という側面もあるのでしょうか。

「屋内廊下のメリットは、陽射しや雨風や気温など、外の環境に影響されないことです。多種多様な内装材が使えたり、間接照明による効果的な光の演出ができたりと、デザイン性の選択肢がかなり広がりました」(加藤)

- ▲ (上) 共用廊下と玄関アルコーブに同じ床材を連続させることで、広々とした印象に。
(GM 大濠公園ザ・タワーレジデンス / 福岡県)
- ▲ (下) ガラスを通して届く自然光が、玄関アルコーブに時間や季節の移ろいを知らせます。
(GM 成城レジデンス / 東京都)
- ◆ クラシカルな雰囲気な空間デザイン。瀟洒な老舗ホテルのような魅力があります。
(GM 南青山 / 東京都)

「デザインへのこだわりがどんどん加速している気がします。笑。とくにGMでは玄関扉やアルコーブに木目調の仕上げ材を採用するケースが多く、高級感のあるしつらえは大きな魅力になっていると思います」(松井)

「GM名駅三丁目のように、都心のマンションではメタリック調の仕上げにするなど、エリアの特性や住まれる方のライフスタイルをどうイメージするかで、選ぶ素材や質感は変わってきますよね」(是澤)

実はこんなところにもこだわりが、というポイントはありますか。

「私たちが重視していることのひとつに、空間の連続性があります。たとえばGM The 覚王山向陽町の玄関アルコーブの場合、当初

talking member



● 松井 理紗
名古屋マンション事業部 技術室
一級建築士

休日は友人や夫を誘って外出。最近ではマルシェや蚤の市を楽しんでいます。大のドラマ好きで、新作は全作品の第1話を見て興味します。



● 加藤 航平
名古屋マンション事業部 技術室
二級建築士

小2から夢見ていた建築士になってワクワクの毎日です。趣味は鉛筆や筆で「かくこと」。最近では岡本太郎の「明日の神話」を模写しました。

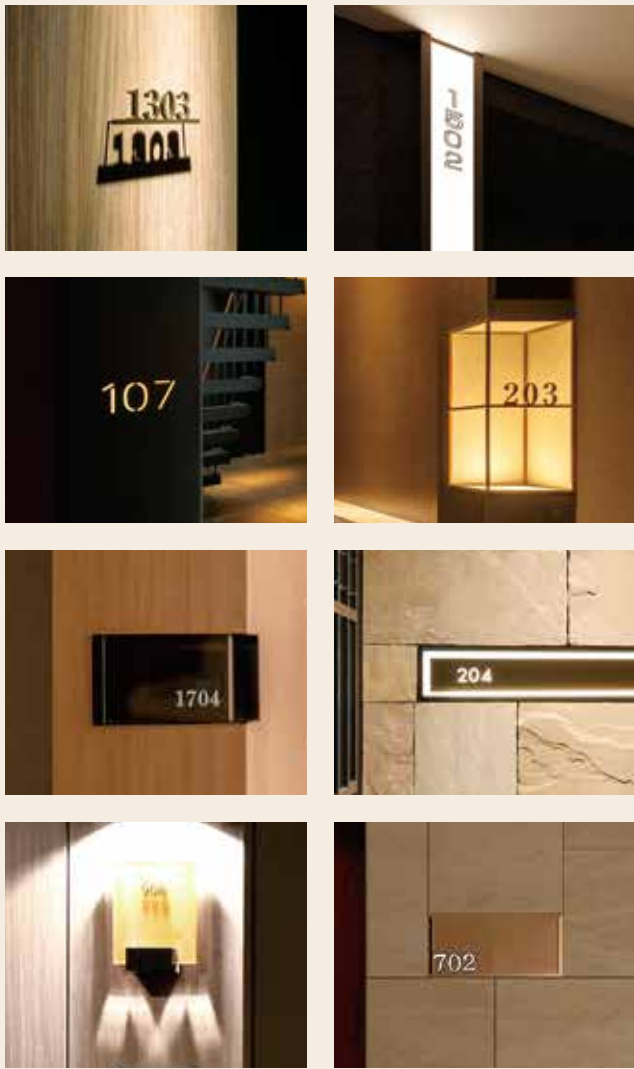


● 是澤 岳
名古屋マンション事業部 販売営業室
宅地建物取引士 2級FP技能士

4歳頃からサッカーが大好きで、今はFWとして社会人チームに所属。終業後に試合に出場することもあります。最近、ゴルフも始めました。

GM Sign Collection

玄関アルコーブを魅力的に演出する部屋番号のサイン。
GMでは、物件のイメージに合わせて一つひとつ丁寧にデザインしています。
皆さんはどんなサインがお好みでしょうか？



- ◆ お気に入りのアートでわが家らしさを演出。お子様が描いた絵を飾るもの素敵です。(GM大濠公園2020/福岡県)
- ◆ 三方枠が立体的に浮かび上がるようデザインされた照明で、空間がモダンな雰囲気。(GMザ・大濠/福岡県)

共用廊下と玄関アルコーブの空間の連続性を意識して 仕上げ材の質感や色を選んでいきます。(加藤)



「共用廊下と玄関アルコーブの空間の連続性を意識して仕上げ材の質感や色を選んでいきます。」

「共用廊下と玄関アルコーブの空間の連続性を意識して仕上げ材の質感や色を選んでいきます。」

「共用廊下と玄関アルコーブの空間の連続性を意識して仕上げ材の質感や色を選んでいきます。」

デザインへのこだわりがどんどん加速。 上質なしつらえはGMの大きな魅力だと思います。(松井)



「共用廊下と玄関アルコーブの空間の連続性を意識して仕上げ材の質感や色を選んでいきます。」

「共用廊下と玄関アルコーブの空間の連続性を意識して仕上げ材の質感や色を選んでいきます。」

「共用廊下と玄関アルコーブの空間の連続性を意識して仕上げ材の質感や色を選んでいきます。」

使い勝手も進化し、 日々を豊かに彩る空間へ

機能面での取り組みとしては、どんなことが挙げられるでしょうか。



「共用廊下と玄関アルコーブの空間の連続性を意識して仕上げ材の質感や色を選んでいきます。」

- ▶ (右上) ランダムな石貼り、木目、メーターボックスを囲ったアイアン。上質な素材を組み合わせて豊かな表情に。(GM The池下向陽町/愛知県) ※完成予想CG
- ▶ (左上) アルコーブ入口の天井部に底を設け、共用部との見切り感と私邸らしさを創出しています。(GM白金/東京都)
- ▶ (右下) 壁面と一体化したカウンター風のニッチは、お買い物から帰ってきた時の荷物置きとして重宝。(GM久屋大通/愛知県)
- ▶ (下左) シックな仕上げの玄関アルコーブ。ニッチをどう演出するかで空間の表情が変わります。(GM The住吉本町MR/兵庫県)

フレキシブルな発想で さらに魅力的な提案を

「共用廊下と玄関アルコーブの空間の連続性を意識して仕上げ材の質感や色を選んでいきます。」

